

上板橋第二中・向原中 統合準備委員会ニュース

第7号

発行日：平成 29 年 6 月 20 日
 開催日：平成 29 年 5 月 24 日
 発行：板橋区教育委員会事務局
 新しい学校づくり課
 学校配置調整担当課長
 電話 3579-2624

第7回統合準備委員会では、事務局からの連絡事項、上板橋第二中学校改築計画の変更について、上板橋第二中学校新校舎移転時期の変更に伴う確認事項について、上板橋第二中学校跡地活用について、記念室の規模・レイアウト、展示・保管物品について、平成 29 年度統合準備委員会実施スケジュール、両校の交流事業について、意見交換等が行われました。

上板橋第二中学校 新校舎への移転時期は、 平成 33 年 4 月に変更となりました。

アスベスト含有について、向原中学校の校舎等を調査したところ、主に校舎外壁にアスベストが含まれていることがわかり、解体工事が当初の予定よりも長くかかることが判明しました。

アスベストは中皮腫などの病気の原因となる物質とされています。解体工事の際は関係法令に基づき厳格な処理をする必要があります。

これに伴い、全体の工期や新校舎への移転時期及び通学区域の変更時期を見直しました。

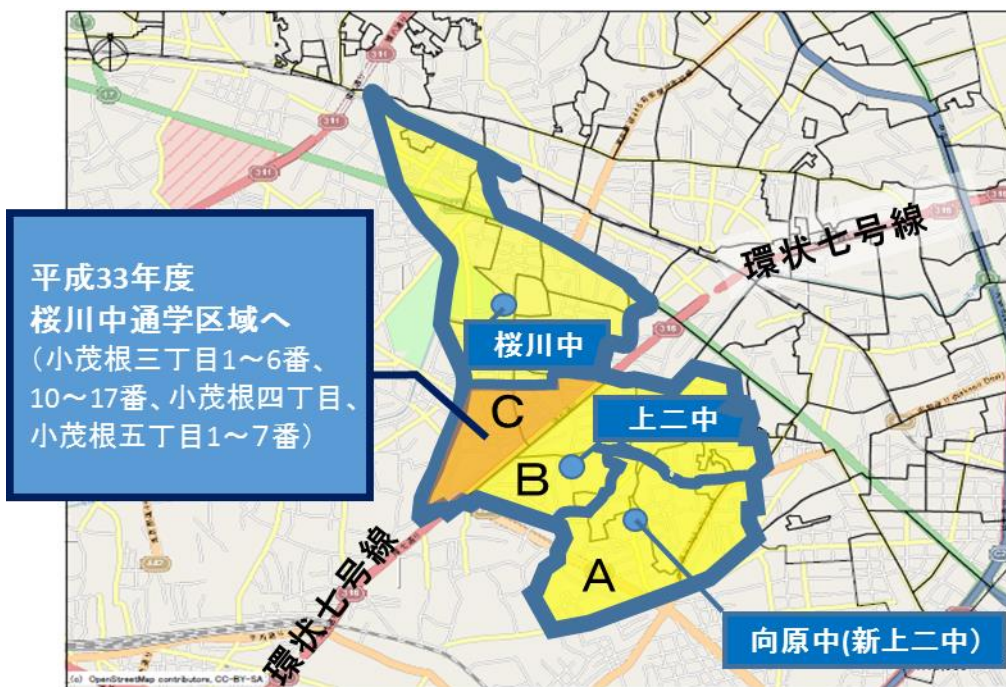


★工事期間の延伸に伴い、移転時期を平成 32 年度から平成 33 年 4 月に変更します。

新校舎へ移転

平成 29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	36 年度
向原中	統合	(改築工事)			★上板橋第二中[新校舎]		
上板橋第二中		上板橋第二中[現在地]					
小学 1 年	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2
小学 2 年	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
小学 3 年	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	
小学 4 年	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3		
小学 5 年	小 6	中 1	中 2	中 3			
小学 6 年	中 1	中 2	中 3				
中学 1 年	中 2	中 3					
中学 2 年	中 3						
中学 3 年							

★新校舎に移転する時期に合わせて、環状七号線の北西の地域（Cのエリア）を桜川中学校の通学区域とします。



	現在の通学校	統合時の通学校	新校舎移転時の通学校
A	向原中	上二中	(新)上二中
B	上二中		
C	上二中		桜川中

会長あいさつ

前回に引き続き、今年度第2回目、通算第7回目の統合準備委員会ということになります。前回の準備委員会では、移転の時期を平成33年の4月とすべき、との意見をまとめていただきありがとうございました。統合準備委員会のご意見をふまえて、区のほうから正式な考え方をお示しさせていただくとともにその他統合に向けた取り組みについて皆さんと話し合っていきたいと思っております。

記念室の規模・レイアウト、展示・保管物品について

【主な意見等】

委員：記念樹は移植できないのでしょうか。残していただきたいです。

委員：向原中そのものはきれいになるのですから特に希望はしません。新しい場所に新しい木を植えるほうが経費もかからないし、木のためにもいいと思います。『希望の泉』も無理に残さなくていいと思います。

委員：あまりノスタルジックになる必要はないと思います。

委員：二つが一つになるのだから両方の学校のメモリアルを飾るのはいかがでしょうか。

委員：今この話をしても、結局3年後の直前までどうするかということだから、この話は一旦やめにしたほうがいいと思います。

上二中校長：航空写真を入れていただきたいです。この地での航空写真は2度とないのでお願いしたいと思います。

上板橋第二中学校跡地活用について

【主な意見、質疑応答等】

委員：例えば保育園と養護老人ホームを一体で使うという形もいいかと思います。

委員：建物自体に耐震性があるなら3年と言わず壊さなくてもよろしいのではないかと思うのですがいかがですか。跡地利用というけど耐震性があるならそのまま何年かは存続させて、今みたいな話はおいおいやっていけばいいのではないかと思います。

委員：今のこの感覚で言えば、避難所、あるいは備蓄倉庫というのは当面残りそうだなと思ってはいますが、避難所として残していただくようお願いしたいと。町会からの切実な思いですので是非一つよろしくをお願いします。

委員：協議会の始めのほうで、そもそもこの鉄筋の調査をして十分もつという話があったと思います。耐震性は確保されているということであれば建物自体はこのままということでもいいかと思えます。

事務局：板橋区内の学校は全てにおいて耐震補強工事を完了しております。ですので、耐震性がある建物になっています。ただし建物につきましては耐用年数というのがございまして未来永劫ずっと使えるかという、やはり経年劣化は進行してまいりますので、ずっと使えるというものではありません。劣化度調査を行っていますので、その辺の数値も加味して、どのくらいもつのかということ、区の資産活用課で進めていくところになるかと思えます。

委員：移転した後この上二中の土地はどのように活用されるのか、何かお考えが区にあるのかと。実際新上二中を建てるのでお金も相当かかると思うので、何か売れるものがあつたら売りたいのではないのかと思いますが、その辺も含めてどうお考えでしょうか。

事務局：公共施設を総括的に管理している資産活用課という部署がございます。施設が所期の目的を終えて廃止になる場合にはまず区の中で別の用途に活用できるか検討します。区の中で別の用途に活用するということが可能性がないとなった場合には売却をするという流れがございます。

委員：跡地活用につきましては、やっぱりもう少し時間をかけてゆっくりと地域の人が歩まなくてはいけない問題ではないかと考えています。この問題については地域で、地域会議の中で上二中の跡地をどうしようかということをお皆さんのほか、もっと広いメンバーで、地域会議を作って話し合いをする、と。できましたらば、地域会議で話し合うということをご提案させていただきたいと思えます。

会長：統合準備委員会は、学校が統合するまでの組織になりますので、それ以降のことについて考えると新たな検討組織のようなものを立ち上げるということも必要かと思えますし、今委員が言われたように地域会議というものを活用するのも一つの方法かと思えます。ここで決めるということではなく、そういう考え方もあるということをご認識いただき、そういった機運が高まれば、区を利用するとか、地域の方々が動いてみるという方法もあるかと思えます。建設的なご意見ありがとうございます。

委員：校庭芝生化というのは可能なのでしょうか。跡地利用で芝生化していただき、子ども達が走り回れるようなグラウンドにするのはどうでしょうか。

事務局：正直申し上げましてかなり多額の経費がかかります。学校施設の天然芝であれば東京都からの補助金がございますが、学校の用途を廃止した施設に対しては補助金等はないので、全額区の単独の負担ということになるかと思えます。区内に天然芝のある中学校はございません。部活等の関係もあって天然芝はどうしても芝がもたないということがございます。一定期間校庭に入れない芝生の養生期間というのが生じ、1年間に2か月3か月必要になります。また非常に芝の維持管理に手間がかかります。天然芝を張ってある学校は、地域の方々に、芝生のキーパー隊というのを組織していただいて、毎週芝刈りをしていただいております。そういったことが負担になってくるということもありまして正直お勧めはいたしません。弥生小学校は、10年前に天然芝生化しましたが平成28年度に芝生の全面張り替えを行っています。かなり手入を一生懸命やっていたとしても10年もつかどうかというのが正直なところです。

上板橋第二中学校新校舎移転時期の変更に伴う確認事項について

【主な質疑応答】

委員：桜川中学校に通学区域が変わるところがありますが、転校についてはどうなのでしょう。
事務局：平成30年度の統合時は、基本的に全員上二中へ通学することになります。他の学校への転校については指定校変更という制度がありまして、適切に対応させていただきたいと思っておりますが、学校のキャパシティの関係がありますので、個別的な対応をさせていただきます。通学路の安全性ですとか、教育的配慮により、個別的な状況で対応したいと思っております。
平成33年度には、上二中の生徒は、向原中校地に新しくできる上二中に全員通学することになります。桜川中学校に通学区域が変わるところがありますが、新しく入学される方が対象ですので、その時の在校生は桜川中学校に転校とはなりません。上二中以外の学校を希望される方については同様に個別対応させていただきたいと思っております。

平成29年度統合準備委員会実施スケジュールについて

【主な意見、質疑応答等】

委員：展示品だとか保管物品のスペースの設計変更はできるんですか。
事務局：今年度の実設計が終わってしまうため、原則はこれの中でということと考えております。
委員：来年4月以降は上二中のPTAでお決めになればいいことであって、向原中はなくなるわけですから、それがどうこうという問題ではないという認識です。統合した後の新しい上二中さんのPTAの中でお決めになることだと解釈するのが一番妥当だと思います。我々に与えられた使命として、一緒になるまでにどういう形でスムーズにできるかということ集まったのだと私は認識しています。跡地利用についての意見はたくさん言ったほうがいいのかと思いますけれども、突っ込んでどこまでというような結論めいたことは、ここでは難しいのかなという気がします。

交流事業について

向原中学校の校長先生から両校の交流事業についてお話がありました。
向原中 宮田校長先生：中学校で交流事業をやろうということで、まず現時点では6月30日に1、2年生を対象に第1回目の交流の機会を持つということが決まっています。普段の授業があるのでなかなか難しいところがありますが、先生たちが話し合ったり、お互いの授業を見に行く機会を少しずつこの5月から持ち始めました。できるだけいろいろな行事も見られるように調整をしている段階です。PTAのほうもいろいろ考えてくれていて、給食試食会は1学期、家庭教育学級は2学期に行われる予定です。こういう形で交流をもつことを考えておりまして、前回よりは少し形ができてきて進んできているところです。交流会は、向原中の生徒がこっちへ来年4月から通ってきますので全部上二中を会場にしていきます。学校の中のことを理解するためにも上二中を会場でやろうと考えています。

次回予定

日時：平成29年9月6日（水）午後6時30分～午後8時00分
場所：向原中学校 1階 ランチルーム

委員会は原則傍聴できます。詳しくは下記までお問い合わせください。

発行元 板橋区教育委員会事務局 新しい学校づくり課 学校配置調整第一グループ
電話 3579-2624 FAX 3579-4214

※上板橋第二中・向原中統合準備委員会ニュースは区ホームページからご覧いただけます。
http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/079/079799.html